

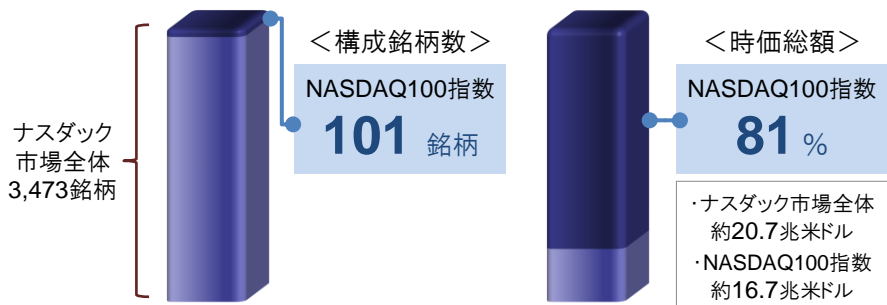
ナスダック上場銘柄のうち、時価総額上位で構成される株価指数

NASDAQ100指数は、世界最大級の新興企業向け株式市場、米ナスダック市場に上場している企業のうち、金融業を除く時価総額上位100社の株式で構成される株価指数です。最先端技術を有するような、世界有数のハイテク企業やバイオテクノロジー企業などを多く含んでいます。

同指数はハイテク関連を中心に多様な業種で構成されており、銘柄数は限定的ながら、時価総額ではナスダック市場全体の81%をカバーしています。

NASDAQ100指数の
構成銘柄数および時価総額の比率*

(2023年10月末時点)



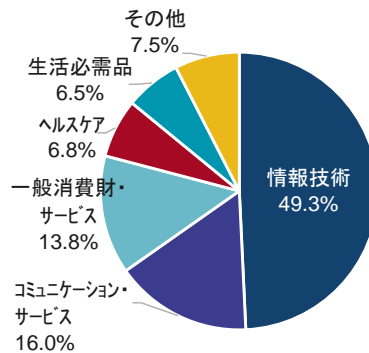
*ナスダック市場全体の銘柄数および時価総額はNASDAQ総合指数のもので、同指数はナスダック市場に上場する全銘柄で構成される株価指数です。

※NASDAQ100指数は時価総額上位100社の株式で構成されていますが、1社で複数の銘柄が上場している場合があるため、構成銘柄は100とは限りません。

※比率は指数の時価総額比です。

NASDAQ100指数の
業種別構成比率

(2023年10月末時点)



※上記は、世界産業分類基準(GICS)のセクター分類で表示しています。

※四捨五入の関係で、合計が100%とならない場合があります。

●信頼できると判断した情報をもとに日興アセットマネジメントが作成

上位には世界的な巨大IT企業が並ぶ

同指数の構成上位銘柄には、世界的な巨大IT企業が並びます。これらの企業は、今後の社会を一変させ得る技術分野のトッププレイヤーとして、更なる成長が期待されています。

NASDAQ100指数の構成上位銘柄

(2023年10月末時点)

順位	銘柄名	国	業種	比率	順位	銘柄名	国	業種	比率
1	アップル	米国	情報技術	11.0%	6	ブロードコム	米国	情報技術	3.1%
2	マイクロソフト	米国	情報技術	10.4%	7	アルファベット(クラスA)*	米国	コミュニケーション・サービス	3.0%
3	アマゾン・ドット・コム	米国	一般消費財・サービス	5.7%	8	アルファベット(クラスC)**	米国	コミュニケーション・サービス	3.0%
4	エヌビディア	米国	情報技術	4.2%	9	テスラ	米国	一般消費財・サービス	2.6%
5	メタ・プラットフォームズ	米国	コミュニケーション・サービス	3.9%	10	コストコホールセール	米国	生活必需品	2.2%

*議決権が付与された株式 **議決権が付与されていない株式

※記載の銘柄について、売買を推奨するものでも、将来の価格の上昇または下落を示唆するものでもありません。また、当社ファンドにおける保有・非保有および将来の銘柄の組入れまたは売却を示唆・保証するものでもありません。

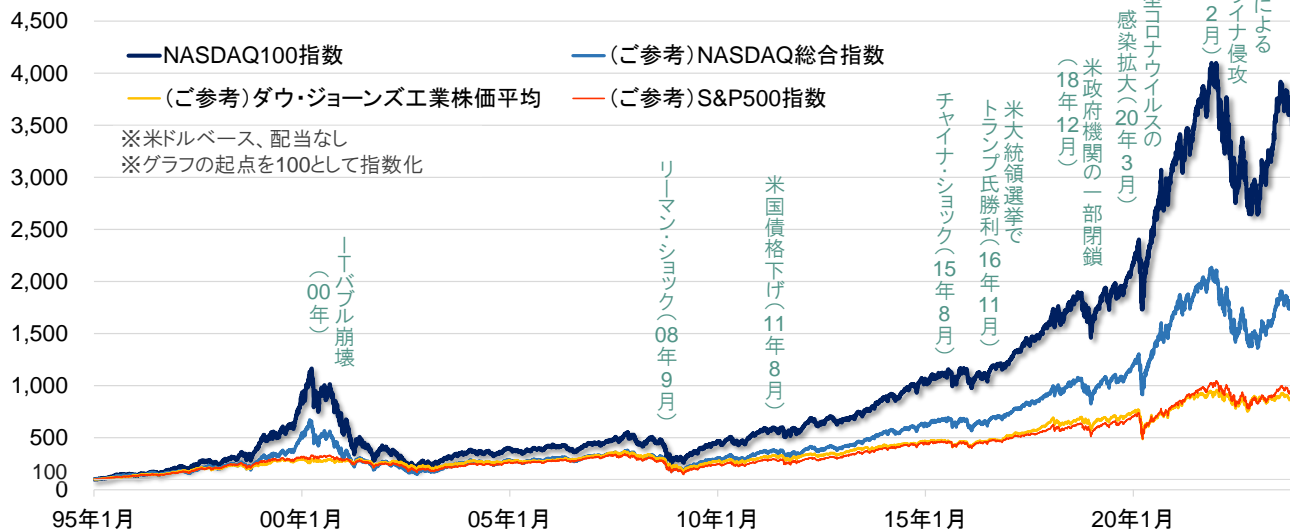
●信頼できると判断した情報をもとに日興アセットマネジメントが作成
上記は過去のものであり、将来を約束するものではありません。

NASDAQ100指数は相対的に大きな成長を遂げる

NASDAQ100指数は、世界を代表するテクノロジー企業などが構成銘柄に多いことなどから、それらを牽引役として長期的にみて、相対的に堅調な推移を遂げてきました。

NASDAQ100指数の推移

(1995年1月初～2023年10月末)



定期的な銘柄入替により、厳選された成長銘柄への投資が可能

NASDAQ100指数では、毎年12月に定期的な銘柄入替が実施されます。そのため、大きな環境変化を乗り越えて成長を続ける企業が構成銘柄となっていることが多く、同指数を通じて、厳選された成長企業への投資が可能になると言えます。なお、構成銘柄が企業買収の対象となる場合などには、臨時の銘柄入替が行なわれます。

NASDAQ100指数の入替銘柄

(2022年10月末～2023年10月末)

	適用日	除外銘柄	新規採用銘柄とその概要	
定期入替	2022年12月19日	ベリサイン	コスター・グループ	商業用不動産の情報をオンライン上で提供
		スカイワークス・ソリューションズ*	リビアン・オートモーティブ	アマゾン・ドット・コムも出資する、米国のEVメーカー
		スプラク	ワーナー・ブラザー・スタジオ	映画の配給などを手掛ける、米国のメディア大手
		百度(バイドゥ)	グローバルファウンドリーズ	米国で最大規模の半導体受託生産企業
		マッチ・グループ	ベーカー・ヒューズ	油田機器やサービスを提供するGE*傘下の企業
		ドキュサイン	ダイヤモンドバック・エナジー	米国テキサスに拠点を置く、石油・天然ガス企業
		網易(ネットイース)	なし	
臨時入替	2022年11月21日	オクタ	エンフェーズ・エナジー	太陽光発電向けの高度な技術を提供するメーカー
	2023年6月7日	ファイサーブ	GEヘルスケア・テクノロジーズ	GE*から分社化された米国のヘルスケア企業
	2023年6月20日	リビアン・オートモーティブ	オン・セミコンダクター	幅広い分野に製品を提供する、半導体メーカー
	2023年7月17日	アクティビジョン・ブリザード	ザ・トレードデスク	デジタル広告を管理するプラットフォームを提供

*米国のゼネラル・エレクトリック

※銘柄名は信頼できると判断した情報をもとに日興アセットマネジメントが和訳したものであり、実際と異なる場合があります。

※記載の銘柄について、売買を推奨するものでも、将来の価格の上昇または下落を示唆するものではありません。

また、当社ファンドにおける保有・非保有および将来の銘柄の組入れまたは売却を示唆・保証するものではありません。

●信頼できると判断した情報をもとに日興アセットマネジメントが作成

上記は過去のものであり、将来を約束するものではありません。

日興アセットマネジメント

当資料は、日興アセットマネジメントが情報提供を目的として作成したものであり、特定ファンドの勧誘資料ではありません。また、弊社ファンドの運用に何等影響を与えるものではありません。なお、掲載されている見解および図表等は当資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動等を保証するものではありません。投資信託は、値動きのある資産(外貨建資産には為替変動リスクもあります。)を投資対象としているため、基準価額は変動します。したがって、元金を割り込むことがあります。投資信託の申込み・保有・換金時には、費用をご負担いただく場合があります。詳しくは、投資信託説明書(交付目録見書)をご覧ください。

過去においても、米国の成長を牽引した企業が構成上位に

時価総額の大きい銘柄で構成されるNASDAQ100指数には、その時々々の米国経済の成長を牽引する、そうそうたる企業が名を連ねてきました。近年、こうした企業の成長は目覚ましく、時価総額の規模は過去10年で飛躍的に拡大しています。

NASDAQ100指数の時価総額上位銘柄の変遷

2002年
12月末

	銘柄名	業種	時価総額 (億米ドル)
1	マイクロソフト	情報技術	2,764
2	インテル	情報技術	1,032
3	シスコシステムズ	情報技術	946
4	デル	情報技術	690
5	アムジェン	ヘルスケア	622
6	オラクル	情報技術	569
7	コムキャスト	コミュニケーション・サービス	532
8	クアルコム	情報技術	286
9	アプライド・マテリアルズ	情報技術	215
10	イーベイ	一般消費財・サービス	209

2012年
12月末

	銘柄名	業種	時価総額 (億米ドル)
1	アップル	情報技術	5,006
2	アルファベット	コミュニケーション・サービス	2,324
3	マイクロソフト	情報技術	2,248
4	オラクル	情報技術	1,577
5	ボーダフォン・グループ	コミュニケーション・サービス	1,237
6	アマゾン・ドット・コム	一般消費財・サービス	1,136
7	クアルコム	情報技術	1,054
8	シスコシステムズ	情報技術	1,043
9	インテル	情報技術	1,026
10	コムキャスト	コミュニケーション・サービス	985

2022年
12月末

	銘柄名	業種	時価総額 (億米ドル)
1	アップル	情報技術	20,669
2	マイクロソフト	情報技術	17,877
3	アルファベット(クラスC)*	コミュニケーション・サービス	11,452
4	アルファベット(クラスA)**	コミュニケーション・サービス	11,452
5	アマゾン・ドット・コム	一般消費財・サービス	8,569
6	テスラ	一般消費財・サービス	3,890
7	エヌビディア	情報技術	3,595
8	メタ・プラットフォームズ	コミュニケーション・サービス	3,156
9	ペプシコ	生活必需品	2,489
10	ブロードコム	情報技術	2,337

※業種はGICS(世界産業分類基準)のセクター分類を用いて分類しています。 *議決権が付与されていない株式 **議決権が付与された株式

※時価総額は企業の全発行済株式の時価総額を記載しています。※「アルファベット」の時価総額は、A株とC株を合計した数値です。

※銘柄名は信頼できると判断した情報をもとに日興アセットマネジメントが和訳したものであり、実際と異なる場合があります。

※記載の銘柄について、売買を推奨するものでも、将来の価格の上昇または下落を示唆するものでもありません。

また、当社ファンドにおける保有・非保有および将来の銘柄の組入れまたは売却を示唆・保証するものでもありません。

●信頼できると判断した情報をもとに日興アセットマネジメントが作成

上記は過去のものであり、将来を約束するものではありません。

日興アセットマネジメント

当資料は、日興アセットマネジメントが情報提供を目的として作成したものであり、特定ファンドの勧誘資料ではありません。また、弊社ファンドの運用に何等影響を与えるものではありません。なお、掲載されている見解および図表等は当資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動等を保証するものではありません。投資信託は、値動きのある資産(外貨建資産には為替変動リスクもあります。)を投資対象としているため、基準価額は変動します。したがって、元金を割り込むことがあります。投資信託の申込み・保有・換金時には、費用をご負担いただく場合があります。詳しくは、投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。